



株式会社リョーサン

2019年度第2四半期 決算補足資料

2019年10月31日

2019年度第2四半期 業績結果

2019年度通期 業績計画

資料取扱い上のご注意

本資料で述べられている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

- ・主要市場(日本、アジア等)の経済状況、消費動向及び製品需給の急激な変動
- ・ドル等の対円為替相場の大幅な変動
- ・資本市場における相場の大幅な変動等

- 19年度上期連結業績は売上高、営業利益ともに前年同期下回る。一方、経常利益は前年同期で生じた外貨建負債等評価替えに伴う為替差損が差益に転じ、増益。
- 特別損失として物流統廃合決定による減損費用等あり、当期純利益の増益幅は縮小。

(単位:億円)	18年度上期	19年度上期			
	金額	金額	前年同期比	期初計画	期初計画比
売上高	1,289	1,164	△9.7%	1,150	+1.3%
売上総利益	107	92	△13.6%	93	△1.1%
(売上高比)	(8.3%)	(7.9%)	(△0.4pt)	(8.1%)	(△0.2pt)
営業利益	28	18	△34.8%	17	+11.1%
(売上高比)	(2.2%)	(1.6%)	(△0.6pt)	(1.5%)	(+0.1pt)
経常利益	16	18	+15.9%	14	+34.1%
(売上高比)	(1.3%)	(1.6%)	(+0.3pt)	(1.2%)	(+0.4pt)
当期純利益	10	10	+2.3%	10	+8.1%
(売上高比)	(0.8%)	(0.9%)	(+0.1pt)	(0.9%)	(0.0pt)
1株当たり当期純利益(円)	43.62	46.15	+5.8%	42.68	+8.1%
米ドル 平均レート(円)	110.26	108.63	△1.5%	108.00	+0.6%

事業別業績の概要

2019年度第2四半期
業績結果

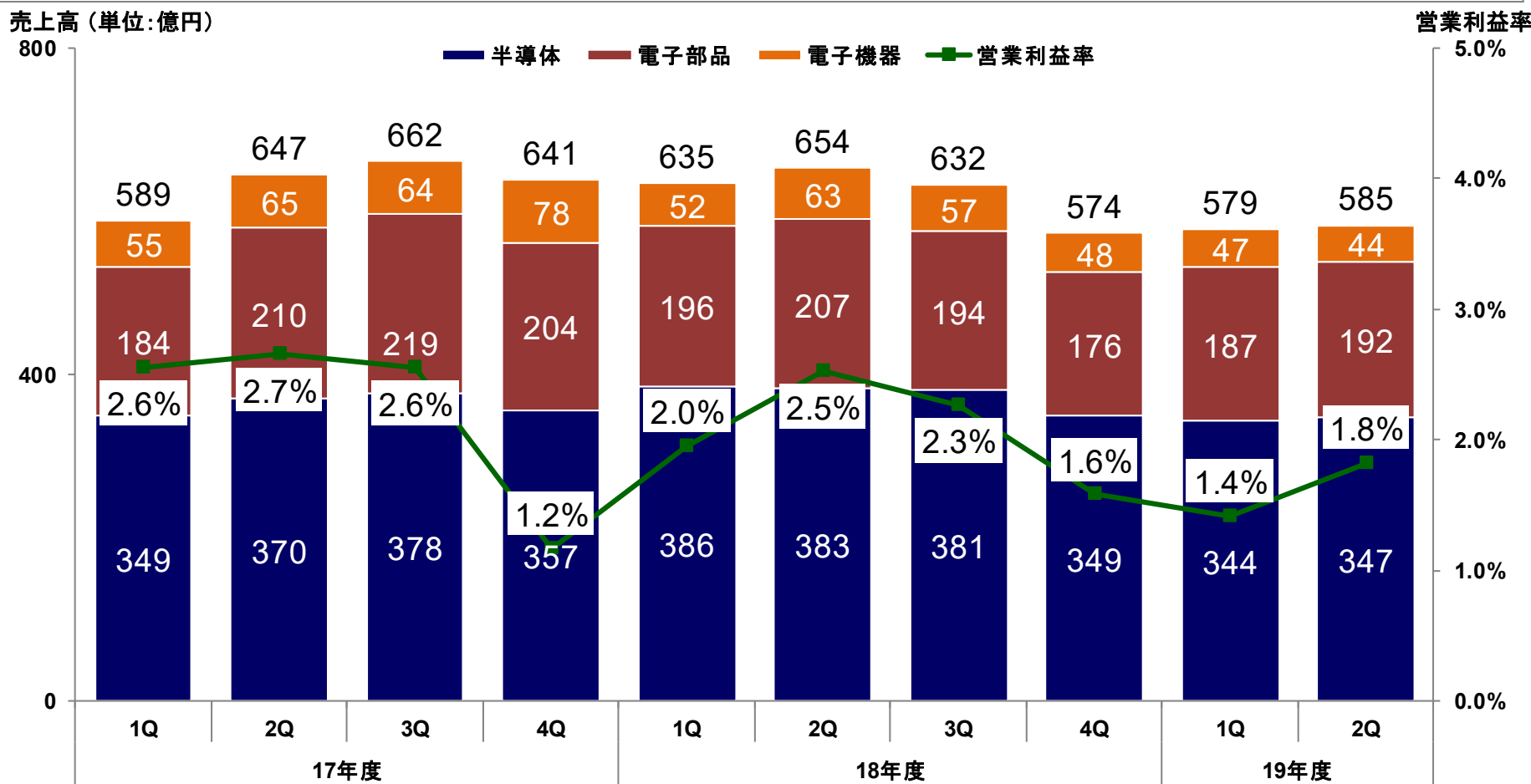
- 半導体事業は産業機器向けビジネスの落ち込み、販売報奨金減少等あり、減収減益。
- 電子部品事業は18年度上期まで好調だったコンシューマ向けビジネス反動減、産業機器向け高付加価値商品の販売低調等の結果、減収減益。
- 電子機器事業は高付加価値商品取扱い等により、前期比、期初計画比各々減収増益。

(単位:億円)		18年度上期	19年度上期			
		実績	実績	前年同期比	期初計画	期初計画比
半導体事業	売上高	770	692	△10.1%	695	△0.4%
	営業利益 (売上高比)	13 (1.8%)	8 (1.2%)	△42.3% (△0.6pt)	9 (1.3%)	△10.4% (△0.1pt)
電子部品事業	売上高	404	380	△6.0%	355	+7.0%
	営業利益 (売上高比)	14 (3.7%)	11 (3.1%)	△19.5% (△0.6pt)	9 (2.5%)	+32.9% (+0.6pt)
電子機器事業	売上高	115	92	△20.1%	100	△7.8%
	営業利益 (売上高比)	1 (1.5%)	1 (1.9%)	+1.2% (+0.4pt)	1 (1.0%)	+73.0% (+0.9pt)
合計	売上高	1,289	1,164	△9.7%	1,150	+1.3%
	営業利益 (売上高比)	28 (2.2%)	18 (1.6%)	△34.8% (△0.6pt)	17 (1.5%)	+11.1% (+0.1pt)

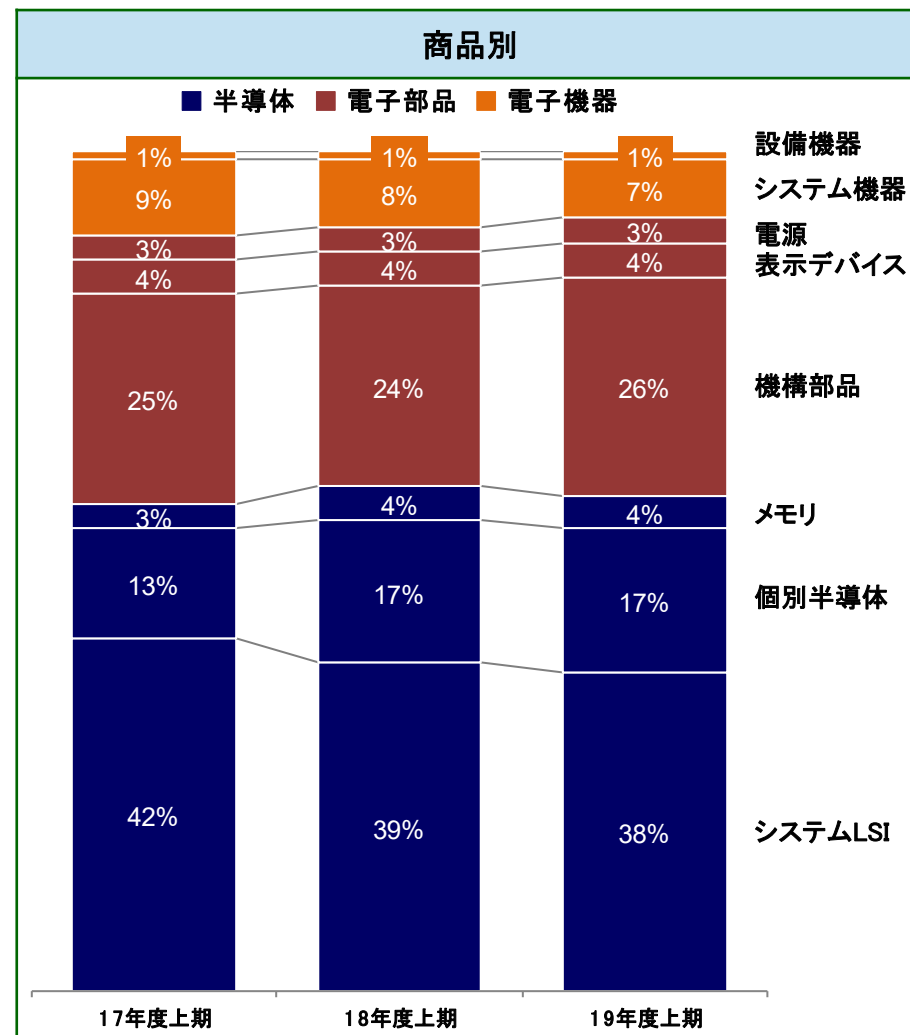
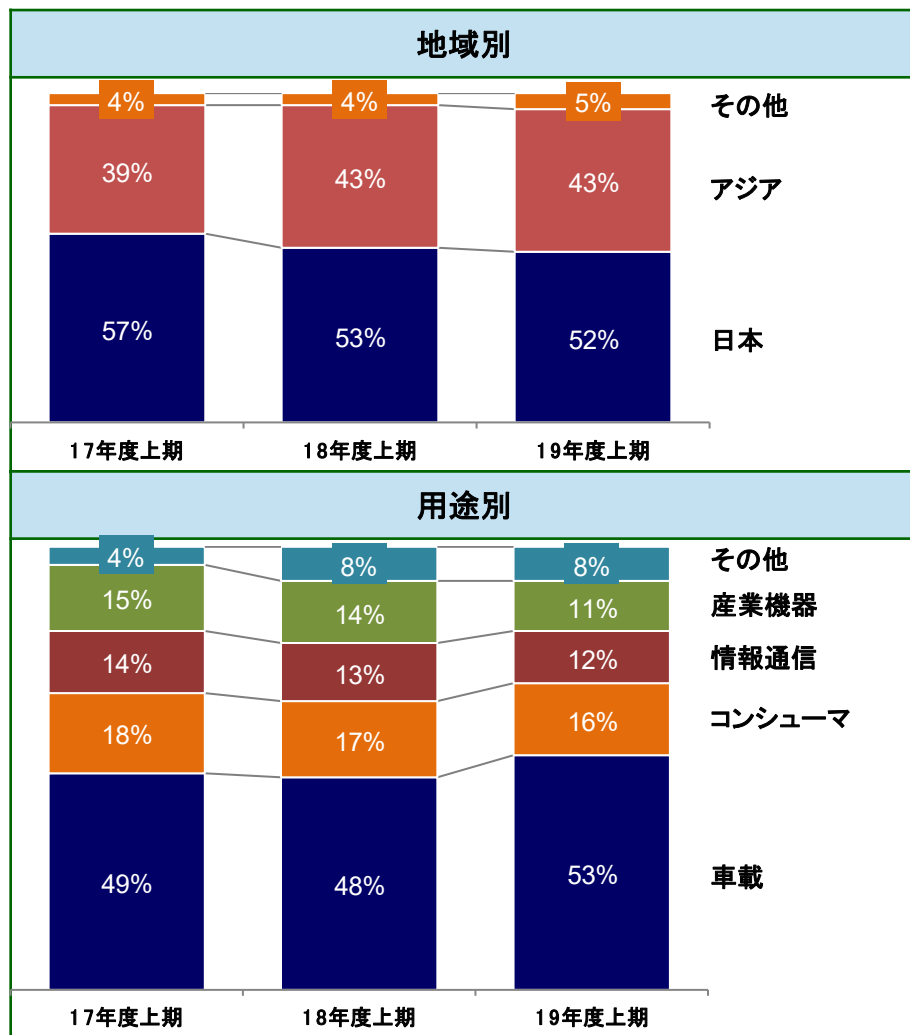
四半期毎 売上高・営業利益率

2019年度第2四半期
業績結果

- 売上高は18年度4Q以降600億円割れで推移。産業機器分野を中心とした需要低迷の影響を受ける。
- 営業利益率は売上高減少に伴う売上総利益額減少で19年度1Qは1.4%にまで低下。販売管理費削減等により、19年度2Qは1.8%まで回復。



■ 地域別に著変なし。用途別は車載向けのみが前年同期水準の売上高を確保した結果、シェア拡大。商品別では車載向け機構部品が堅調推移。



- 特別配当を含む18年度期末配当金支払17億円等の結果、純資産は864億円に減少。
- 棚卸資産圧縮49億円、売上高減少等に伴う売上債権減少31億円等の結果、営業活動によるキャッシュ・フローはプラス130億円(前年同期比+40億円)。現金及び現金同等物残高は211億円(同+40億円)。

(単位:億円)	19年3月末	19年9月末	比較増減
総資産	1,465	1,414	△51
流動資産	1,293	1,245	△48
固定資産	172	168	△4
負債	587	549	△38
純資産	878	864	△14
自己資本比率	59.9%	61.1%	+1.2pt

(単位:億円)	18年度上期	19年度上期	比較増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	90	130	+40
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2	△1	+1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51	△61	△10
現金及び現金同等物の四半期末残高	171	211	+40

2019年度第2四半期 業績結果

2019年度通期 業績計画

- 19年度通期業績計画は19年5月公表の期初計画から変更なし。
- 為替計画レートは108円から105円に変更。下期計画の営業外損益に為替影響含まず。

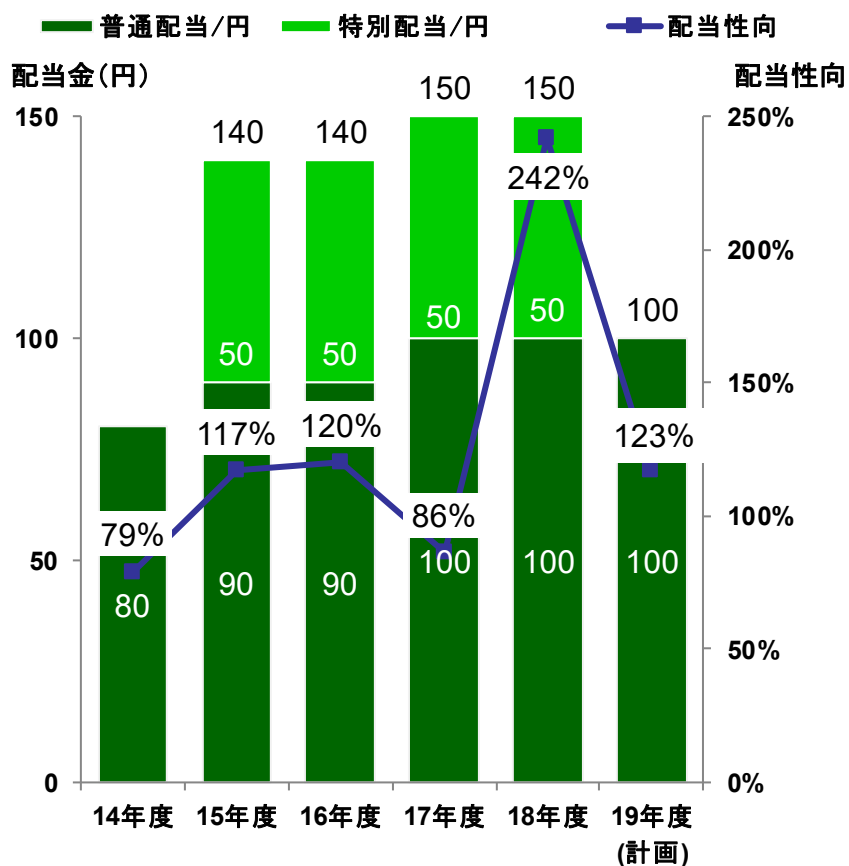
(単位:億円)	18年度	19年度					
	通期	上期	下期計画	通期計画	前年同期比	期初計画	期初計画比
売上高	2,496	1,164	1,185	2,350	△5.9%	2,350	0.0%
売上総利益 (売上高比)	206 (8.3%)	92 (7.9%)	100 (8.5%)	193 (8.2%)	△6.5% (△0.1pt)	193 (8.2%)	0.0% (0.0pt)
営業利益 (売上高比)	52 (2.1%)	18 (1.6%)	23 (2.0%)	42 (1.8%)	△19.8% (△0.3pt)	42 (1.8%)	0.0% (0.0pt)
経常利益 (売上高比)	39 (1.6%)	18 (1.6%)	17 (1.5%)	36 (1.5%)	△9.4% (△0.1pt)	36 (1.5%)	0.0% (0.0pt)
当期純利益 (売上高比)	14 (0.6%)	10 (0.9%)	8 (0.7%)	19 (0.8%)	+28.4% (+0.2pt)	19 (0.8%)	0.0% (0.0pt)
1株当たり当期純利益(円)	62.07	46.15	34.94	81.09	+30.6%	81.09	0.0%
米ドル 平均レート(円)	110.91	108.63	105.00	106.82	△3.7%	108.00	△1.1%

- 19年度下期は半導体事業、電子機器事業は産業機器向け持ち直し等があり、売上高、営業利益ともに漸増。一方、電子部品事業はコンシューマ向けビジネスが上期比減少見込みで減収減益。
- 通期計画は上期実績等を踏まえ、半導体事業、電子機器事業を期初計画に対して下方修正、一方、電子部品事業は上方修正。事業別計画合計は期初計画から不変。

(単位:億円)		18年度	19年度					
		通期	上期	下期計画	通期計画	前年同期比	期初計画	期初計画比
半導体事業	売上高	1,501	692	722	1,415	△5.7%	1,420	△0.4%
	営業利益 (売上高比)	24 (1.6%)	8 (1.2%)	13 (1.9%)	21 (1.5%)	△12.8% (△0.1pt)	22 (1.6%)	△4.4% (△0.1pt)
電子部品事業	売上高	774	380	364	745	△3.8%	715	+4.2%
	営業利益 (売上高比)	26 (3.4%)	11 (3.1%)	10 (2.9%)	22 (3.0%)	△15.1% (△0.4pt)	19 (2.7%)	+18.4% (+0.4pt)
電子機器事業	売上高	221	92	97	190	△14.2%	215	△11.6%
	営業利益 (売上高比)	3 (1.7%)	1 (1.9%)	2 (2.3%)	4 (2.1%)	+4.7% (+0.4pt)	4 (1.9%)	0.0% (+0.2pt)
合計	売上高	2,496	1,164	1,185	2,350	△5.9%	2,350	0.0%
	営業利益 (売上高比)	52 (2.1%)	18 (1.6%)	23 (2.0%)	42 (1.8%)	△19.8% (△0.3pt)	42 (1.8%)	0.0% (0.0pt)

- 19年度株主還元計画は期初計画から変更なし。
- 配当は普通配当金100円を計画。自己株式取得は予定せず。

1株当たり配当金



自己株式の取得

年度	取得株数 (万株)	金額 (億円)
12年度	100	19
13年度	100	19
14年度	45	18
15年度	155	46
16年度	137	44
17年度	361	159
18年度	105	42
19年度(計画)	—	—